



東北大学グローバルCOE

Network Medicine

創生拠点

NM高等教育セミナー

Jennifer C. Moore博士

(Co-Director, NIMH Stem Cell Center, Rutgers University, USA)

Small-Scale, Footprint-Free Generation of Human iPSC from Cell Repository Specimens to Study Neuropsychiatric and Addiction Disorders

2012年6月18日(月) 16時-17時
医学部5号館201号室

神経精神疾患や薬物中毒患者の神経細胞を解析することは技術的には困難ですが、患者のリンパ球を採取しそこからiPS細胞を誘導して神経誘導することで、患者由来の神経細胞を解析することが可能となりました。とくにSendai-virusを使うことによってゲノムに変異を起こさせずにiPSを作成できるので、遺伝子の解析にも有用であると考えられます。

講師のJennifer Moore博士は多能性幹細胞の研究者で、これまでヒトES細胞の樹立などに携わり、各国でES細胞樹立に関する技術的指導などを行ってきました。またRutgers大学NIMH Stem Cell CenterではiPS細胞の研究も手掛けており、様々なヒトソースからのiPS細胞作製を行っている第一線の研究者です。今回は神経疾患におけるiPS細胞の有用性についてご講演いただきます。

本セミナーは医学履修課程特別セミナー等を兼ねています。受講学生は履修簿を持参し、セミナー修了後にサインを受けること。聴講は自由大歓迎です。学部生の皆さんもぜひどうぞ。

拠点リーダー 岡 芳知 / 世話人 出澤 真理 (細胞組織学分野)
問い合わせ先: 内線8026